

平成	29	年度	福岡市立〔 入部幼稚園 〕	学校評価実施状況(公表用)
めざす学校像・子ども像 ・ 教員像			課 題	今後の改善方策
○ 家庭・地域と連携し、幼児が喜んで登園し、幼児のよさや生きる力の基礎を育む幼稚園 ○ 基本的な生活習慣を身に付け、お互いを認め合う子ども ○ 幼児への愛情と教育者としての情熱と使命感を備えた信頼される教員			小学校への接続	・ 就学前に付けておく力については、園児の実態に即して個別指導を行う。 ・ 年度内に就学先と引き継ぎを行い、閉園後、子どもや保護者が困らないようにする。
			閉園処理の完結	・ 年度内に書類や備品等、閉園に関する業務を全職員で分担しながら完了させていく。
			人材育成	・ 打合せや研修を通し、ねらいを達成していく実践力を育成していく。
重点目標	指標(取組指標・成果指標)		達成状況についての説明	
園児の交流活動の充実を図る。	いるべ保育園との交流回数を昨年の2回から増やし、同年齢や未満児とふれあう機会を各学期に設ける。		今年度は閉園を控え年長児のみの在園となったため、例年の交流活動に加え、園児が同年齢の子や年下の子と触れ合える機会を充実させた。ねらいにせまる交流となるよう、年間計画を立案し、それに沿って実施計画を立て、事前の打ち合わせを双方で細かくしながら、交流をおこなった。いるべ保育園との交流では、未満児のクラスに分かれて入ったり、田植えや稲刈りを一緒にしたりする等、今年度新たな内容を加えることができた。交流時には同じ小学校に行く子をペアにするなど、グルーピングも工夫した。交流の充実についての保護者からの評価も、目標の90%を超すことができた。	
	同じ公立幼稚園である内野幼稚園との交流活動を新設する。			
	校区にある特別養護老人施設・公民館・小学校との交流での内容を工夫する。			
	各学期末の保護者アンケートで、90%以上を目指す。			
「入部幼稚園3つのスタンダード」である、「あいさつ・返事」「人の話をしっかり聞く」「くつならべ・あとかたづけ」の定着を図る。	生徒指導担当を中心に週打ち合わせで実態や取組について報告し、指導の工夫を行う。		「入部幼稚園3つのスタンダード」の中から、昨年度一番定着率の低かった「くつならべ・あとかたづけ」を今年度も重点指導項目とし、力が定着していくように取り組みを進めた。保護者との連携を図れるように、年3回の取組強化週間を設け、その時に配布するプリントの内容にも、子どもへの声掛けやポイントを載せるなどの工夫をした。達成率としては、2学期末時点の保護者評価では、3項目中2項目は80%を超え、「くつならべ・あとかたづけ」については、1学期より7%上昇し、79%まで上がってきている。	
	家庭でも取組が進むよう定期的に強化週間を設定し、評価してもらう。			
	学級懇談会等で各家庭の取組を交流する機会を設けたり、個別の相談にのったりする。			
	学年末の保護者アンケートで、80%以上を目指す。			
小学校との接続を意識しながら、ねらいを明確にした保育をおこなう。	週打ち合わせや期ごとの振り返りをおこない、園児の実態やねらいに沿った保育が出来ているのかを話し合う。		ねらいを明確にした保育を行うことができたかについては、期ごとの振り返りや週打合せの中で、話し合っていた。しかし、小学校との連携を意識した保育という視点では、保育者のキャリアや保育力の差があった。今後も人材育成については、継続して保育力を高めていきたい。テーマや人権教育についての研究保育も、年間計画に沿い行うことができたが、テーマについては講師の先生が病欠となってしまったが、テーマ研究の成果は、教育論文にもまとめることができた。保育に対する保護者アンケートの満足度は、90%を上回った。	
	小学校低学年の指導内容について研修する機会や参観する機会を設ける。			
	テーマや人権教育についての研究保育をおこない、外部講師の指導を受ける。			
	各学期末の保護者アンケートで、90%以上を目指す。			
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)				
○ 子どもたちのあいさつが、よくできている。公民館に遊びに来た時やトイレを借りる時、元気で大きな声であいさつをしていた。幼稚園だけでなく、家庭でも基本的な生活習慣は育てていかなければならない。 ○ 昔遊びで交流をした時、進んで話したり、詳しく話したりできていると感じた。多くの交流機会の中で、色々な学びやつながりができている。来年から交流がなくなると、寂しくなる。 ○ 幼稚園での様子や学校評価をプレゼンを使いながら説明してもらい、分かりやすかった。子ども達の様子もよく分かった。 ○ 閉園後の用地の活用や管理についてが心配。何かあったらどこに伝えたらいいのかなどを明確にしておかないといけない。				